



「1月13日の大雪」

患者さんの権利

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利 | 5 常に人としての尊厳を守られる権利 |
| 2 疾患の治療等に必要な情報を得、また教育を受ける権利 | 6 医療上の苦情を申し立てる権利 |
| 3 治療法を自由に選択し、決定する権利 | 7 繼続して一貫した医療を受ける権利 |
| 4 プライバシーが守られる権利 | 8 生活の質 (QOL) や生活背景に配慮された医療を受ける権利 |

CONTENTS

- ② 年頭所感
- ③ 「赤ちゃんにやさしい病院」認定記念講演会を開催して
- ④ 地域医療支援病院運営委員会の開催
- ⑤ ~21世紀における超音波検査の新しい展開~
- ⑥ マンモグラフィ ステップアップセミナーに参加して
医療安全推進カレンダーを作成しました
- ⑦ 面浮立／新人紹介
- ⑧ 外来診療担当医表／編集後記

基本理念 「信頼と心のゆとり」



年頭所感

新年あけましておめでとうございます。年末・年始を病院勤務で過ごされた職員の皆さん、お疲れ様でした。皆さんのおかげで地域住民はもちろん、正月を嬉野温泉で迎えられた多くの旅行客もきっと安心して過ごせたことと思います。

昨年は、国立病院機構(NHO)が発足して5年目、第一期中期計画の終了の年でした。終了にあたって実施された外部評価では、NHO発足時に業務目標として掲げた14項目全て「A」、うち5項目は「S」と判定され、独立行政法人の中では類を見ない高い評価を受けることができました。

本院はどうかというと、「経営面」と「医療面」の評価を合わせた総合評価では、全国154施設中で何と6位にランクされました。NHO発足1年目の評価では96位でしたので、この5年間で飛躍的な成長を遂げた事が実証されました。これまで取り組んできた病院運営の方向性に間違いなく、かつ職員の皆さんの努力が実を結んだ結果と、心から喜んでいます。

地域での評価はどうでしょう。診療実績で判断すると、入院を要する救急患者数は毎年増加し、平成20年7-12月のDPC資料によると、県内第1位となっています。また、地域の先生方からの紹介患者数も経年的に増え続けていることからみて、地域の住民ならびに医療機関からの信頼は確実に増していると思われます。毎年、地域の人々との忘年会に数多く参加させていただいているですが、そこでは「国立病院の頃と比べて、大きく変わった、良くなつた」と有難い言葉が聞きました。更に昨年は今までにない言葉をいただきました。「本院の職員が自施設のことだけでなく、市や南部地域のこと、さらには県全体のことを考え行動しているかがよくわかった」という発言です。我々の病院を地域の病院として認知し、共に地域医療を守っていこうという意識が伝わりました。

今年は、昨年の「力を蓄える年」から「将来を見据えた新たな出発の年」と名付けました。これまで培った医療と経営の実績を基盤に、中・長期的展望に立った積極的投資を行っていきたいと考えています。その1つは南西部医療圏の最後の砦としての地域型救命救急センターの立ち上げです。承認が取れれば施設・設備の拡充と人材確保を行います。加えるに広域医療圏からの要望が強い小児救急医療体制の強化を図りたいと考えています。2つ目は地域がん診療連携拠点病院として、がん患者に対する治療水準の向上に力を注ぐと共に、がん登録・緩和ケアに対する基盤整備を推進します。更に今年6月には長年積み上げてきた情報システムに、診療記録の電子化、地域連携システム、感染管理システム、物流システム、更に生体認証システム等を加え、嬉野バージョン病院情報システムを立ち上げます。

これまで病院全体の総合力で成長を遂げてきましたが、個々の部門には多くの問題が積み残されています。これから各部門が自立・進化する事で、病院としては更なる成長を遂げると信じます。今年秋の病院機能評価更新の機会を捉え、これまで積み上げてきた病院運営を基本から見直し、より信頼される病院へ発展させたいと考えています。今年は将来を見据えて如何に有効な投資が行えるか、今後の当院の行く末をも左右する重要な転機の年になるはずです。皆さんと共に頑張りましょう。

「赤ちゃんにやさしい病院」

認定記念講演会を開催して



嬉野医療センター母乳育児推進委員会 青木恒子 山下 直子

昨年8月、当院はBFH「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されました。このことを記念して、12月9日に記念講演会を開催し、職員や学生、地域の保健師や看護師の方など118名の参加を頂きました。会の進行は、まず始めに母乳育児推進委員長である河部副院長の挨拶の後、当院の4年間の取り組みの経緯を報告、日本母乳の会運営委員の吉永宗義先生よりお祝いのメッセージを頂きました。その後長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授の篠原一之先生に「五感を介しての母子間のコミュニケーション」というテーマでご講演を頂きました。篠原先生の講演は、五感の中で特に赤ちゃんの嗅覚・視覚・聴覚がどれだけ優れているかを、実験データや3D画像をもとに説明され、母子間のコミュニケーションが、妊娠7カ月頃からすでに成立していることを実証されました。特に印象的なのは、母親の気分が胎児の表情・動きにも影響を与えてることや、赤ちゃんは味覚が発達していて、お母さんの母乳を通して旨味という日本の食文化を引き継いでいること、目と目を合わせてお話ししないと赤ちゃんは情報を受け取らない事など、赤ちゃんの知られざる能力を次々と教えていただき、改めて母親の影響の大きさを痛感しました。又、今後、助産師として、外来での指導や母親学級、両親学級での指導も視点を変えて話すことができ、分娩時の対応でも、赤ちゃんの立場から考え助産ケアができるなどのメリットがあり、とても参考になりました。参加頂いた方からのアンケートも「母子の関係は妊娠中から影響していること、赤ちゃんがこれほど五感を使って生命活動をしているのだということを初めて知りました。」「母親の匂いで赤ちゃんの痛みが軽減するなど、母乳は栄養以外にも精神面で役立つことを再認識しました。」など、もっと話を聞きたかったと感想を述べられた方が多く講演はとても好評でした。



当センターでは地域母子保健セミナーを平成21年10月より2か月に1回開催しています。地域へ広がる母乳育児を目指して今後も活動ていきたいと思っていますので、今後ともご協力をよろしくお願ひいたします。



地域医療支援病院 運営委員会の開催

経営企画室長 大石 和男

当院は地域の医療機関との密接な連携を確立し、地域住民へ質の高い医療サービスの提供を目指した「地域医療連携室」を平成16年8月2日に開設しました。

地域医療連携室は地域の医療機関と当院とを橋渡しする役割を担い、地域医療の連携を促進し、その結果として平成18年10月31日付で、「地域医療支援病院」の名称承認を受けました。

佐賀県南部医療圏の地域医療支援病院として地域医療の充実を図るという責任を日々果たしています。

当院では地域医療支援病院として毎年数回の地域医療支援病院運営委員会を開催しています。

平成21年12月7日に「平成21年度第1回嬉野医療センター地域医療支援病院運営委員会」が開催されました。鹿島藤津地区医師会長の織田先生を委員長に外部9名、院内8名の委員により委員会が始まりました。最初に病院より平成21年度の診療実績について古市地域医療連携室長が「地域医療連携に関する診療実績等」、「広報活動の実績」をスライドにて報告しました。次ぎに今後の地域医療連携について岡統括診療部長より救急医療体制に関する報告、杉原看護部長より認定看護師による講演、研修の実績が報告されました。

多数の活発な意見交換が飛び交う中、鹿島藤津地区歯科医師会より当院が実施しているクリニカルセミナー（地域の医師、医療関係者の資質の向上を図る目的で各科の医長を中心となって、それぞれの分野の最新情報、先端医療などの紹介を行う）に関し、現在は医師の情報が中心であるが、急性期の患者に対し歯科治療を行い、食事摂取を勧めていくことで身体機能が改善に向かうと言うことが言われているので参考に出来るお話しをクリニカルセミナーの中でしたいという意見がありました。

また、薬剤師会からも1年に1回は薬剤師会主



催によるセミナーを実施すれば更に参加の機会が増えるとの意見もありました。

これらの意見に対し、早速病院の方で検討し、4月に歯科のセミナーを実施することを決定しました。

以上、当院は地域医療支援病院として今後も地域における医療の確保のために必要な支援を行っていく次第です。



~21世紀における 超音波検査の新しい展開~

放射線科部長 福井健一郎

皆さんは超音波検査にどのようなイメージをお持ちでしょうか。薄暗い部屋で、冷たいゼリーをつけ検査され、白黒画面(いまだき!)で診断する検査。あるいは心エコーや婦人科の検査を受けた方は、カラー画面で血流もみれる検査、といったところではないでしょうか。

ところが、いま超音波検査はエライことになっています。当院でも昨年4月より、東2病棟にあった神経内科・脳外科検査担当のエコーが最新型に更新され、神経分野にとどまらず腹部や乳腺・四肢血管などの検査も可能となり、心臓や産婦人科分野以外で威力を発揮しており、その紹介をさせて下さい。

今回の導入機は日立メディコのHIVISION Preirusという九州導入第一号機で、昨年4月より稼働しています。その性能は放射線科医・検査技師双方に、『これまで使っていた機械で検査するのが怖い!』といわせるものですが、この最新鋭機が凄いのは、画像だけではありません。全く新しい機能として①新世代の造影剤を使った造影エコーができる。②CTやMRIの画像を3D化し、いまエコーで見ている方向が3D画像ではどう見えるか確認しながら、同時にエコー検査をすることができる。③組織の硬さ・柔らかさが診断できる。という、これまでと違う次元の検査が可能となっています。

まず①に関しては、肝腫瘍の検査やその正確な治療に生かされており、簡単に言うと、従来のエコーでは見えないため治療できなかつた腫瘍が、造影することで治療可能となります。4月以降の9ヶ月でも、造影エコーでしか見えなかつた肝腫瘍の患者さんに治療が可能となつた症例が何例もあり、また手術中の肝腫瘍治療



にも使用されています。さらに②の機能を併用することで、造影エコーですらボヤッとしたしか見えないがCTでは見えている腫瘍に対して、正確な治療が可能となっています。この造影エコー検査はさらに応用も広がってきており、今後が期待されています。佐賀県内でも新世代の造影エコー検査ができる施設はかなり限られ、佐賀県西部では当院のみとなります。また③に関してはあまりピンと来ないかもしれませんのが、乳癌の超音波診断にかなり有用と考えられている検査であり、当院でも増加してきている乳腺の検査に効果を発揮しています。

これらの新たな機能にも欠点があります。検査時間が延長したり、造影検査時の静脈ルート確保などに手間がかかり、従来のエコーの『簡便・低侵襲』という長所が薄れる点です。しかし非常に有用な検査法であり、今後も研究検査科の技師陣や肝臓内科の先生方と協力して、最新医療を円滑に提供できるよう努力していきます。不十分な点もあるとは考えますが、皆さん宜しくお願いします。



マンモグラフィ ステップアップセミナー に参加して

診療放射線技師 赤嶺真理子

7月24日に九州医療センターで講義・技能研修、10月28～30日に長崎医療センターで技能派遣研修を行いました。九州医療センターではマンモグラフィの画像診断の原理、ポジショニング、撮影装置、乳がんの病理等の知識習得を目的とした集団研修、長崎医療センターでは標準・追加撮影法、精度管理、接遇についての実践、MRI・エコーなど画像診断の知識習得について個人研修を行いました。

集団研修では乳腺外科医や各講師陣の講義、他施設の方々との意見交換を行いました。個人研修では当院にない装置を使用しての精度管理や、乳腺エコーの実習、撮影では自分では気づかなかつたポジショニングの癖などを指摘して

いたしました。また撮影を見学していて、自分には患者さんへのコミュニケーションや気遣いの少なさを反省しました。

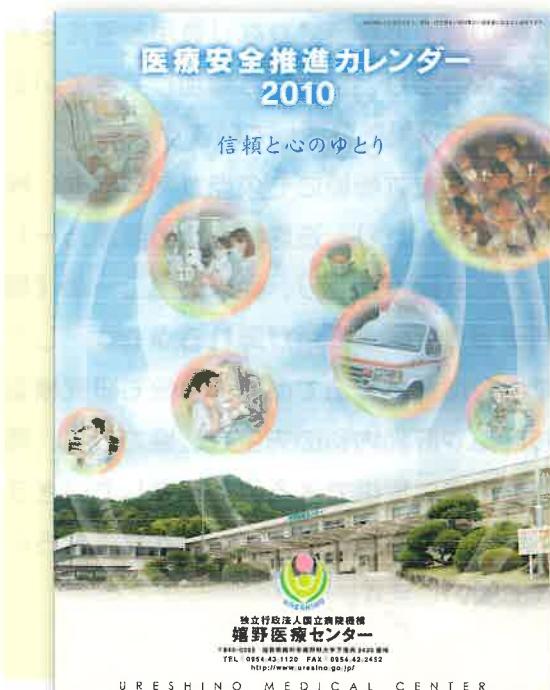
今回の研修で教えていただいたこと、身に付けたことを出来ることから実践していく、良質なマンモグラフィを提供するために撮影技術の向上、認定資格の取得、そして何より検査を受けられる患者さんのために日々励んでいきたいと思います。

最後になりますが、今回の研修参加を快く許可していただいた技師長ならびに放射線科の方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



医療安全推進カレンダーを 作成しました

医療安全係長 重富 祐子



今年も医療安全推進カレンダーを作成いたしました。

全部署より医療安全に関する標語を募集し総数174句が集まりました。その中から48句をカレンダーに、月ごとに掲載致しました。

日々の業務の中で、カレンダーの標語を意識することで確認の徹底・マニュアルの確認等に活用して頂き医療事故防止に努めて頂きたいと思います。また、今年度よりこのカレンダーの活用の評価をしていきたいと考えてあります。

標語の応募・写真撮影にご協力いただきありがとうございました。



面浮立

臨床検査科 中島 哲也

皆さん、先日の病院玄関で行われた浮立の踊りをご覧になられましたか？

毎年秋祭りには豊玉姫神社に奉納されます。今回の浮立は温泉区浮立(地区の持ち回り)が来られました。浮立(風流)は県内に面浮立・一声浮立(皮浮立)・鉦浮立・玄番一浮立・行列浮立・踊浮立・舞浮立・獅子浮立などがあり、面浮立は、笛・鉦・太鼓等の囃子に合わせて踊りや舞などの所作を展開します。五穀豊穣を感謝し、雨乞いや怨霊鎮魂、悪霊退散を神へ祈願する、奉納神事として室町時代の頃より伝えられています。面は鬼の形をしていますが、言い伝えによると“昔々鍋島直茂公が今山陣に鬼面をかぶって奇襲し大勝した”のに因むとか口碑伝承などで伝わっています。また嬉野地区の小学校では、運動会の集団演技でも行われていて子供たちのかわいい浮立がみられます。2月には“あつたか祭り”が開催され、その時にも見ることができます。

浮立の躍動的な動きや踊り、太鼓と笛の何とも



いえないコラボしたメロディーが聞く者の心が癒され、神秘的な気分になります。やはりこういう郷土芸能は行く末まで残さなければと思います。

最後に皆さんも時には、日常のデジタルな生活感を忘れて昔々の情景を思い浮かべ、郷土芸能のアナログな世界を体験しながら一献いただぐのも風流(浮立)ではないでしょうか。また個人的にこういうふうに書けるようになったのも年をとってきたからでしょうか。ちょっと複雑です。

新人紹介

() は採用日



内科レジデント

もりぐち ゆか
森口 由香
(H21.11.2)



麻酔科レジデント

こうろき まさよ
興梠 雅代
(H22.2.1)



非常勤看護師（西3）

はえいわ ゆかり
榮岩由香里
(H21.10.5)



産婦人科レジデント

むらかみ ゆうこ
村上 優子
(H22.1.1)



事務助手（病棟クレーケ）

やまぐち ゆみこ
山口由美子
(H22.1.4)


嬉野医療センター・外来診療担当医表

区分		月	火	水	木	金
呼吸器科	午前	副島 佳文 澤井 豊光	松竹 豊司	副島 佳文 峰松明日香	澤井 豊光	松竹 豊司 峰松明日香
消化器科	午前	町田 治久(消化管) 川副 広明(肝臓)	鶴田 英夫 有尾 啓介(肝臓)	池田 真帆 町田 治久	鶴田 英夫(消化管) 有尾 啓介(肝臓)	池田 真帆 川副 広明(肝臓)
循環器内科	午前	山方 勇樹 吉田 健夫	波多 史朗	吉田 健夫	波多 史朗 吉田 健夫	山方 勇樹
心臓血管外科	午前		力武 一久 三保 貴裕	力武 一久(予約新患)		力武 一久 三保 貴裕
糖尿・膠原内科	午前		田中 史子		田中 史子	河部庸次郎
リウマチ科	午前	河部庸次郎 森口 由香	森口 由香	荒武弘一郎 森口 由香	荒武弘一郎 森口 由香	田中 史子 森口 由香
神経内科	午前			溝田 貴光		溝田 貴光
腎臓内科	午前		中沢将之(整形で診察)		中沢将之(整形で診察)	
小児科	午前	小野 晋康	川内 恵美	佐藤 忠司 小児神経(第3水曜) (診察 14:00 ~ 16:00)	田島 大輔 小児神経(第1木曜) (診察 14:00 ~ 16:00)	酒井 葉那
	午後	佐藤 忠司 (診察 14:00 ~ 16:00)	乳児検診(完全予約制) (診察 14:00 ~ 16:00)	心臓外来 第1水曜 (受付 13:00 ~ 16:00)	小児腎臓外来 第2木曜 内分泌外来 第3木曜	小野 晋康 (診察 14:00 ~ 16:00)
外科	午前	岡 忠之 ①②④	古川 克郎 ①②④	黒 和夫 ①③	柴崎 信一 ①③	若田 幸樹 中尾健次郎 ①③
	午後	岡 忠之・古川克郎(乳臓外来) (診察 13:30 ~ 15:00)(完全予約制)				
整形外科	午前	村田 雅和 依田 周 森口 昇	塚本 正紹 江頭 秀一 宮田 倫明	古市 格 村田 雅和 森口 昇	塚本 正紹 宮田 倫明	古市 格 江頭 秀一 依田 周
脳神経外科	午前	上坂十四夫	宮園 正之		宮園 正之	
皮膚科	午前	大仁田亜紀(新患) 藏岡 愛(再来)	藏岡 愛(新患) 大仁田亜紀(再来)	大仁田亜紀(新患) 藏岡 愛(再来)	藏岡 愛(新患) 大仁田亜紀(再来)	大仁田亜紀(新患) 藏岡 愛(再来)
泌尿器科	午前	林田 靖(新患) 谷口 啓輔(再来)	谷口 啓輔(新患) 青木 大勇(再来)	林田 靖(新患) 青木 大勇(再来)	谷口 啓輔(新患) 林田 靖(再来)	青木 大勇(新患) 林田 靖(再来)
	午後		予約外来		予約外来	
婦人科	午前	村上 優子	藤原恵美子		一瀬 俊介	一瀬 俊介
	午後	藤原恵美子 一瀬 俊介		助産師外来(9時~16時) (完全予約制)	助産師外来(14時~16時) (完全予約制)	藤原恵美子
眼科	午前	新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良	新納 栄良
	午後	予約外来 (特殊検査・特殊治療)		予約外来 (特殊検査・特殊治療)		予約外来 (特殊検査・特殊治療)
耳鼻咽喉科	午前	吉田 晴郎 馬場 明子	吉田 晴郎 馬場 明子		吉田 晴郎 馬場 明子	吉田 晴郎 馬場 明子
	午後			吉田 晴郎・馬場 明子 (診察 13:00 ~ 16:00)		
放射線科	午前	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏	牧野 謙二 福井健一郎 福田 雅敏
麻酔科(ペインクリニック)	午前	香月 亮 島川 勇介	香月 亮 島川 勇介	香月 亮 島川 勇介	香月 亮 島川 勇介	香月 亮 島川 勇介
救急科(8:30 ~ 17:15)		吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人	吉田 昌人

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようにお願い致します。
(当院の受付時間は、午前8時30分～午前11時00分迄です。)

内科系 第2・第4木曜日はベースメーカー外来を行っています。

毎週月・金曜日の午後は一般外来を受け付けています。(受付 14時~16時)

毎週火曜日午後は乳児健診(完全予約制) ■ 第1水曜日の午後は心臓外来(受付 13時~16時) ★完全予約制

毎月第3木曜日の午後は内分泌外来、(受付 13時~16時まで)

毎月第1木曜日・第3水曜日の午後は小児神経外来、(受付 14時~16時まで) ★完全予約制

毎月第2木曜日の午後は小児腎臓外来(受付 13時~16時) ★予約制

外科学 ①一般外科 ②呼吸器外科 ③消化器外科 ④乳腺外科 ■ 每週月曜日の午後は乳腺外来を行っております。(受付時間13時30分~15時)

特殊診療のご案内

小児科 ご紹介は整形外来宛でお願いします。救急患者については救急室にて対応しています。

泌尿器科 每月第1火曜日の午後は、ストーマ外来を予約により行っています。 ■ 每週火・木曜日の午後は、検査予約外来を行っています。

産婦人科 每週月・木曜日の午後は母乳育児指導を受け付けています。(受付時間 13時30分~15時30分)

耳鼻科 每週水曜日午後は一般外来を受け付けています。(受付時間 13時~16時)

耳鼻科 每月第1・第3木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、補聴器外来を行っています。

麻酔科 ご紹介は月曜日でお願いします。救急の場合にはこの限りではありません。

2010.2.1

皆さん、お正月はどう過ごされましたか。年末からの雪で大変だったと思われた方もいらしたのではないかでしょうか。

雪と言えば先月13日は大雪(表紙写真)で、通勤も苦労されたのではないでしょうか。前日夜は「まさか…」と思っていたましたが、朝になってびっくり!!。嬉野も久しぶりだったそうですね。ある師長さんは準備万端で、前日から泊まり込みをされ雪に備えられたそうです。何事も「備えあれば憂いなし」で、日頃の自分を振り返り気を引き締めて行くことが大切かもしれませんね。余計なお世話かもしれませんが…。

編集委員

編集後記